

令和元年度 施策評価表

施策	0304 青少年の健全育成	施策担当部	教育委員会	部長	吉村 武史
		施策担当課	社会教育課	課長	喜々津 武利
施策の方針	地域ぐるみで子育てができるよう、家庭・学校・地域の連携や相談機能の強化を図る。また、青少年の団体活動や子供会活動を促進する。				

【DO（実施）】

基本計画における目標値

①	指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
				H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
	① 青少年健全育成協議会の主催行事への年間参加者数	人	14,148	15,800 14,117	15,850 14,092	15,900 14,860	15,950	16,000	93.5%	92.9%
	② 補導活動への年間延べ参加者数	人	859	890 920	920 1,170	950 1,653	980	1,000	174.0%	165.3%
	③ 家庭教育に関する年間相談件数	件	9,929	11,300 11,582	11,500 13,032	11,700 11,845	11,900	12,000	101.2%	98.7%
	④ 子ども会加入率	%	23	23 20	24 19	25 17.9	25	25	71.6%	71.6%
	⑤									

施策達成状況の説明

- ①地区健全協からの積極的な呼び掛けにより「ココロねっこパレード」や各地区健全協活動への参加者数は増加しているが、目標達成までには至っていない。
- ②特別補導の参加者数にはほとんど増減はないが、各校区の定期補導は、少年センターからの強い呼び掛けにより参加者数が増加したため目標を達成できた。
- ③学校教育課SSWや「ラポールセンター」の相談件数が大幅に増加したため目標を達成できた。
- ④加入促進を図るためポスターを作成し、各小学校や町内公民館に掲示したにも関わらず加入率減少に歯止めがかからなかった。

施策経費

(単位:千円)	H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
	事業費	13,336	11,780	
内訳				
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	13,336	11,780	18,064	
人件費	19,368	20,619	-	
フルコスト	32,704	32,399	-	

施策の概要

030401	家庭環境の充実	親子で参加できるものづくりや子育てに関する講座を開催するとともに、青少年健全育成協議会、PTAや学校などと積極的に連携し、「家庭の日」などを通じて、親子の絆が深まるような環境づくりに努めます。
030402	家庭・学校・地域の連携強化	それぞれの地域が特色を活かしながら、地域ぐるみで子育てができるよう、家庭、学校、地域の連携を強化し、それぞれの行事に協働して取り組むとともに、「ココロねっこ運動」を推進します。 また、青少年の健全育成、非行・事故防止についての広報啓発キャラバンを地域と協働して実施するとともに、万引きや自転車盗難等の犯罪の未然防止にも努めます。
030403	相談体制の強化	青少年の健全育成に関する相談業務について、少年センター、民生委員児童委員協議会連合会、地域子育て支援センター等が情報共有などの連携を密に行い、相談機能の強化を図ります。
030404	青少年の団体活動や体験活動の充実	団体活動を通じて社会の一員としての自覚を高めるとともに、仲間づくりを促進するため、各種サークルの育成及び活動を支援します。 また、実体験の中で豊かな人間性や自立心を培うため、野外での体験型こども教室や、子ども科学館での実験教室などを充実します。 その他、各団体や地域における指導者の育成・確保に努めます。
030405	子ども会活動の活性化	子ども会の活動を、安全で楽しく、魅力あるものにするため、子ども会育成連合会と連携し、保護者や子どもに対する研修会を実施するとともに、活動内容の広報や加入促進のためのPR活動を行います。 また、各子ども会が情報交換できる場を設け、事業内容や課題等の共有を促進しますに努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>毎年2回実施している「自転車マナーアップ運動」は、生徒（中学生・高校生）たちに対し、自転車の違反走行等の指導を行うとともに、事故の未然防止に努めることを目的に実施している。しかし、高校生の自転車マナーが良くないとの意見も多くあり、市内の各高校と、対策について協議・検討する必要がある。</p> <p>少年非行は、毎年減少しているが再犯率の高さと低年齢化が課題である。特に、市内大型店舗での万引きが多発しており問題となっている。</p> <p>子ども会加入率は年々減少傾向にあり、歯止めがかからない状況である。平成29年度に設置した「子ども会加入率向上対策協議会」においても議論を重ねているが、有効な具体策を示すまでは至っていない。</p>
-------------------------	--

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

--	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>高校生の自転車マナーについては、大村市生徒指導研究推進協議会を通じて、市内4高校の生徒指導担当者と今後の対応策について協議していく。</p> <p>市内での少年非行の現状は、主に自転車盗や万引きが多く、喫煙や夜間徘徊は大幅に減少している状況である。今後は、夜間補導に加え、下校時に合わせた大型店舗の見回りなどを増やすよう検討する。</p> <p>今年度から少年センターを設置している自治体で、各市の研修情報を提供し、それぞれの研修会に参加できることとした。</p> <p>それにより、子どもたちの状況や各市独自の取り組みなどの情報交換を行うとともに、補導委員としてのスキルアップに努めている。</p>
---	---

令和2年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
		事業費 (千円)	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	